

令和6年度第2回嘉麻市立図書館協議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和6年度第2回嘉麻市立図書館協議会
2. 開催日時 令和6年11月11日（月曜日）午後1時30分～3時00分
3. 開催場所 嘉麻市役所 碓井総合支所 3階 研修室1
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
 - (1) 委員
 - ・ 下川和彦会長・西田淳子副会長・森弘成委員・北富真治委員・古江和恵委員
 - ・ 水上京子委員・山口希代子委員・坂本光正委員
 - (2) 執行機関
 - ◎ 生涯学習課
 - ・ 課長 末永康洋・課長補佐（兼文化推進係長）松浦宇哲・主査 藤原千晶
 - ◎ 指定管理者
 - ・ 統括責任者 下田富美子・チーフ 藤本あすか
6. 傍聴人数 0人
7. 議題
 - 1) 令和6年度事業経過報告について
 - 2) 令和7年度事業計画（案）について
8. 審議の内容
(会議録の確認者の決定) → 西田委員に決定
 - 1) 令和6年度事業経過報告について・・・原案のとおり承認

資料1については事務局（指定管理者）から、資料2については事務局（生涯学習課）から補足説明を行った。

(説明要点)

指定管理者より

【資料1】

 - ・ 前回協議会にて4月分の報告を行ったため、5月から9月までの報告を行う。
 - ・ 1pおはなし会の参加者はコロナ以前の実績数には及ばないが、参加者が0人という開催回は減ってきていると実感している。今後も引き続きカウンターでの子どもたちへの声かけも含めて周知を図っていききたい。
 - ・ ブックスタートフォローアップ事業として、6月に美術館を会場として絵本と音楽を楽しむというテーマで開催した。講師から、乳幼児期の読書体験を語ってもらいながら、参加者に楽しんでいただける時間を提供できた。参加者の増加を目指してPRしていきたい。
 - ・ 2p児童向けイベントについては、調べる学習コンクールの開催に伴い調べる学

習チャレンジ講座を開催し、嘉麻かるたを通してふるさとのことを学び、学んだことをまとめ、そのことを発表する方法についてレクチャーした。

・3 p お出かけプロジェクト（子ども対象）については、図書館から出かけて行きおはなし会等の事業を行った。図書館見学としては、保育園から来館されるケースも増えている。

・4 p 一般向けのお出かけプロジェクトについては、オレンジサロンから図書館へ依頼いただいております。おはなし会やゲーム等を行っている。ボランティア育成事業については、市内4図書館を活動場所として積極的にボランティア活動をしていただいております。図書館スタッフとの交流も広がっている。

・5 p 展示報告については、自治体との連携事業や図書館で独自に設定したテーマに基づいて、展示開催している。利用者の皆様からも、自分で見つける事が出来なかった本に出会えたというお声や表紙を見せる展示が分かりやすいとの反応もいただいている。

（質疑）

委員：職場体験において、高等学校と小学校から参加されているが、具体的にはどのような内容を行っているのか。また、中学校からの参加は無いのか。学校としては、職場体験をどのような位置付けで取り組みされているのか。

事務局：高校生については、カウンター業務やおすすめ本のポップ作り、調べものの対応、自分のおすすめの本を集めた本棚を設置するマイ本棚という取組にも関わっていただいている。小学生に対しては、図書館からカウンター体験、おはなし会体験、調べもの体験等のプログラムパターンを数種用意しており、児童が興味のあるものを選択して体験していただくようにしている。併せて、事後には体験した内容を学校で発表してもらうようにしている。また、中学校からの依頼については今のところ受付していない。

委員：学校の中の位置付けについては、基本的に総合的な学習の時間の中で、取り組んでいるケースが多いと思うが、各学校でどのようにカリキュラムを組んでいるかによると考える。

委員：一般向けのお出かけプロジェクトの中で、オレンジサロンという名称があるが、具体的にどのような内容なのか。

事務局：オレンジサロンは、高齢者介護課の事業の一環として、各地域において高齢者の交流等を図る事業名称である。

生涯学習課より

【資料2】

・令和6年度事業成果指標経過報告（9月末日現在）として、第6次アクションプラン目標値達成状況の報告を行う。

委員：1番目の年間施設利用者数は、貸出者数になるのか、または来館者数になるのか。また、年間施設利用者数が年間貸出冊数と比較して達成率が高くなっているが、どのような理由が考えられるか。併せて、目標値の設定方法についても、知りたい。

事務局：年間施設利用者数は入館者数の総数としている。計上方法についてはカウンターでのカウントするようにしている。達成率数値の差異については、入館後に閲覧された方が多かったと考えられる。また、目標値の設定については、コロナ禍での利用数激減も踏まえて、当初の設定数値が低かったことも考えられる。今後は、目標値設定について充分検討していきたい。

※協議会后、年間施設利用者数が「貸出者数」であることを確認し、以下のとおり修正〔別紙〕
誤：30,747人 達成率74.7% ➡ 正：19,915人 達成率48.4%

委員：イベント関係の目標値については、項目ごとに達成率の数値に差があるが、参加者数をどの数値で割っているのか具体的に知りたい。また、読書講演会はプログラムも工夫されていて良い内容だったが、天候状態も悪く、会場がアクセスしづらい環境にあり、もっと多くの方に来場していただける可能性もあったと予想され、残念に思った。

事務局：読書講演会参加率については、7月20日に開催した絵本作家の講演会の実績数を記載しているが、参加者数が98人対して、定員数が300人で設定していることから、達成率が32.7%になっている。数年前に講師の石川えりこ氏を招いた講演会の際に300人近くの方々が多数来場されたことも関係して、今回の定員数を設定していたところである。

委員：図書ボランティア活動を行っているが、先日、コロナ禍以降休止状態だった小学校でのおはなし会を再開することが出来た。学校側も多忙な中でボランティアを受入れする事が大変だと思うが、久しぶりに子どもたちの笑顔を見ることが出来、大変嬉しかった。

委員：移動図書館車の巡回場所については、どのような場所を巡回しているか。学校に巡回する場合、学校図書館の活動と重複する部分もあるのではないかな。

事務局：市内の小学校・義務教育学校・保育所・保育園・福祉施設等を巡回している。学校図書館の蔵書と若干重複する部分もある可能性はあるが、大部分が学校に所蔵していない本を借りられる読書活動を活性化する機会になっているのではないかと考える。公共図書館と学校図書館を使い分けながら、有効的に図書館利用をしている児童も見受けられる。

委員：学校に移動図書館車が来ることによって、図書館車の持つ独自の高揚感もあり、読書を広めるきっかけ作りになっていると考える。また、地域のステーションを利用することで、図書館を頻繁に利用する機会となったケースもある。

委員：地域の回覧板で、他の部署のイベントチラシが巡回されていたようであるが、図書館のおはなし会のチラシを回覧版に載せることはできないか。公式LINEの活用をしているか知りたい。また、掲載方法についても工夫してほしい。

事務局：数十年前は、個別の行事チラシを作成して、回覧文書でまわすという取り組みもしていたが、現在は、広報誌に集約して掲載していく方向性で進めているところである。併せて、SNS活用を行いながら、広報活動を行っていきたい。

2) 令和7年度事業計画(案)について・・・原案のとおり承認

事務局(指定管理者)から、資料3に基づき補足説明を行った。

(説明要点)

指定管理者より

- ・ 1 p 主な取り組み、2 p 施設管理運営事業については、昨年度より変更無し。
- ・ 3 p 絵本ですくすく講座については、時期やテーマ、集客について試行錯誤しながら開催しているところであるが、引き続き乳幼児と保護者に対して、読書活動の働きかけを行う予定としている。
- ・ 4 p 調べる学習コンクールについては、第3回目を迎え、より活動が充実していくように取り組んでいきたい。また、学校との連携促進及び支援サービスの充実を目標として項目にあげているが、活動発表の場として図書館や美術館を利用してもらえるように案内していきたい。
- ・ 5 p 製作ボランティアの育成を行っていくための布おもちゃの製作講座開催を予定している。開催後には、保護者向けのワークショップ等を展開できるように取り組みたい。
- ・ 6 p 団体利用の促進について、特別支援学校等から要望があれば、他の利用者が居ない時間帯に図書館を利用してもらえるような試みも考慮していきたい。
- ・ 添付資料として、月別の行事予定表を配付している。

(質疑)

委員：利用者のクレーム等に対する研修と記載があるが、実際に利用者からのクレームは頻繁にあるのか。現在の社会情勢を鑑みると、カウンターに防犯カメラは設置する必要があると考えるが設置しているのか。

事務局：図書館は誰でも無料で来館できる施設という事もあり、一方的なクレームを受ける事もある。今までの指定管理者としての経験上で言えば、嘉麻市におけるクレーム件数は少ないと感じる。大きな声を出す利用者の方も居られるため、対応方法の研修を行い、スタッフの教育を行っている。防犯カメラについては、山田・碓井・嘉穂図書館において、現状ではカウンターから遠く管理しにくい位置にカメラを設置している状態である。今後の状況を見ながら検討することとしたい。

委員：図書館も自衛する方法を検討する必要があると思う。

委員：図書館を活用した学校教育活動支援の中で、学びに必要な情報、資料の提供を行うと記載があるが、学校側と情報交換を含めた情報交換は行っているか。小学生で英語教育が導入されているが、都市部と地方において格差があると考えられるが、学校図書館で足りない部分を公共図書館で補助できるような取組がなされる事が必要ではないか。

事務局：公共図書館司書と学校図書館司書が参加する情報交換を含めた合同研修会について、コロナ禍以降休止状態となっていたが、今年度再開することとしている。所蔵調査を含めた図書の団体貸出も日常的に公共図書館で行っているのと同時に、和書を英訳した本や英語に関する本も所蔵しており、必要に応じて学校側に案内できるようにしていきたい。

委員：福岡県立図書館の電子書籍サービスにおいて、英語関係の資料提供もやっているため、ぜひ活用いただきたい。

9. その他

- ・ 図書館の行事案内
 - ドキドキ わくわく！ 科学あそびワークショップ
- ・ 生涯学習課からの案内
 - 幻の石橋保存プロジェクト（クラウドファンディング）

10. 配布資料

- ・ 令和6年度第2回嘉麻市立図書館協議会次第
- ・ 資料1 令和6年度事業経過報告
- ・ 資料2 令和6年度事業成果指標経過報告について
- ・ 資料3 令和7年度事業計画（案）について

上記に相違ないことを確認する。

令和6年12月6日

会議録確認者

西田 淳子